

専務理事方針

武川 治宏

中津川青年会議所は、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、利他の精神を礎として地域をより良くするために運動してきた先輩諸兄の66年の歴史の上に成り立っています。我々もその精神を携え、40歳までの限られた時間を精一杯、輝かせる必要があります。中津川の未来を想い、目的に向かって切磋琢磨し、持続可能な中津川を創造するために挑戦する人は地域の主人公です。そんな地域の主人公が集う組織、中津川青年会議所であれば、そこから発信される運動も自ずと地域を明るく豊かにすると考えます。

我々の時間は有限です。その時間で最大限の運動発信をするためには、運動の要と言える各会議にて、より良い運動の構築につながる議論が集中的になされることが重要です。そのために、我々はより精度の高い議案が各会議に上程されるよう、まずは各委員会の想いを汲み取った上で、議案精査を行い、時代に即した手法にて意見交流、情報共有をしていく必要があると考えます。

現代社会は情報に溢れています。このような状況では、中津川青年会議所の運動がいくら素晴らしいものであっても溢れる情報に埋もれてしまう可能性があります。そうならないために我々は運動発信の起点となっているメンバー一人ひとりの輝きに目を向け、そこから生み出される運動を伝えたい人に向けて確実に発信することが必要であり、そのためにはまず、情報の受信者をこれまで以上に積極的に増やすことが求められます。そして、我々の運動がこれまで以上に広く届くことで、活動の理解者や共に活動する仲間が増えることに繋がるのだと考えます。

私は専務理事として、理事長をお支えし、未来の組織を考えると共に、メンバー一人ひとりに目配り気配りを心がけ、誰もが地域の主人公として活躍できる組織を作り上げることを使命として掲げ、全力で活動してまいります。

<総務委員会>

青年会議所の意義を理解したうえで、各委員会の活動、運動が効率的に行えるよう、情報共有ツールを活用し、事前の意見交流ができる場を設けていただきたい。また、会議では議論に集中できる会議を設営、運営していただきたい。

<事務局>

渉外業務においてはまずは中津川青年会議所の窓口として、対外事業の意義を理解した

37 上でメンバーに対し迅速な情報提供を行っていただきたい。また、共に成長できる仲間を巻
38 き込むため、全メンバーで自覚と責任を持って会員拡大に取り組める環境構築をしていた
39 いただきたい。